

堀程一郎

ほり・ていいちろう

誠之館教諭

経歴

生:明治6年(1873年)2月1日、広島県深安郡本庄村(現福山市本庄町)生まれ

没:大正5年(1916年)10月20日、現役で病没、享年44歳

明治18年(1885年)3月	12歳	広島県福山中学校入学
明治23年(1890年)7月15日	17歳	広島県尋常中学福山誠之館卒業
明治26年(1893年)4月25日	20歳	慶応義塾卒業
明治28年(1895年)10月1日～ 大正5年(1916年)10月20日	22～ 43歳	福山誠之館教諭(21年間)

生い立ちと学業、業績

福山誠之館の歴史・地理・法制・経済教諭。

「堀先生を憶ふ」『福山学生会雑誌(第50号)』 藤野恵

「三年生になれば、先生に歴史を教えて戴くのだということが自分達の心に、何れ程強い好奇と満足との波を打たせたことであらう。(中略)先生は何よりも先ず、歯切れの好いハッキリした言葉の所有者であった。(中略)時代と事実との面を、極まりなき変化と複雑とを以て彩る夥しい人物や、民族や、国家等に関して、出来る限り、統一的な、明確な理解を授け様といふ親切から、先生は時間の始めに、必ず、一章毎の表を書き示されたのである。黒板の上に濃く誌るされた劃の正しいチョークの痕は、先生の言葉そのものを唯、線に依って表はしたものであり、同時に几帳面な先生の性格の一面を、最も好く表現し得たものであった。更に先生でなければと思はれる軽い諧謔と挿話との内に、進むだけは如何してもやっつけのけると言ふ先生の態度が、自分達にとって、此の負担の感じをも与へなかつたと言ふことは、決して偶然ではなかつた。」

出典1:「明治44年3月卒業写真」、広島県立福山中学校、明治44年3月

出典2:『誠之館百三十年史(上巻)』、495・527・621・715・767・772・808・830・875・881頁、福山誠之館同窓会編刊、昭和63年12月1日

関連情報1:『福山学生会雑誌(第50号)』、19頁、「堀程一郎先生を憶ふ」、藤野恵、福山学生会事務所編刊、大正6年1月1日

関連情報2:『福山学生会雑誌(第50号)』、23頁、「堀程一郎君を偲ぶ」、濱野知三郎、福山学生会事務所編刊、大正6年1月1日

2008年7月29日追加●2011年8月24日更新:本文●